

くすりのしおり

内服剤

2023年04月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名:アイトロール錠 10mg

主成分:一硝酸イソソルビド(Isosorbide mononitrate)

剤形:白色の錠剤、直径7.0mm、厚さ2.4mm

シート記載など:(表)アイトロール、10mg、狭心症治療薬

(裏)アイトロール、10mg、狭心症治療薬、121



この薬の作用と効果について

心臓をとりまく冠状動脈を拡げて血流量を増やし、心臓に酸素や栄養を補給するとともに、全身の血管の抵抗を減らして心臓の負担を軽くします。

通常、狭心症の治療に用いられます。急に起こった発作をすぐにしずめるために使用する薬ではありません。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。低血圧、心原性ショック、閉塞隅角緑内障、頭部の外傷、脳出血、貧血がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（ :医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回2錠（主成分として20mg）を1日2回服用しますが、年齢・症状により適宜増減されます。効果が不十分な場合は1回4錠（40mg）を1日2回服用します。ただし、労作狭心症または労作兼安静狭心症で発作回数および運動耐容能の面で重症と判断された場合には1回4錠（40mg）を1日2回服用することもあります。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合は、1回飛ばして次の通常の服用時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・飲酒により血管拡張作用が増強され、血圧が下がることがあるので、注意してください。
- ・頭痛などの副作用により、注意力、集中力、反射運動能力などが低下することがあるので、このような場合には、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないでください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、頭痛、めまい・ふらつき、動悸、不眠、全身倦怠感、発疹、かゆみ、胃もたれ、腹部膨満感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。